

病院だより

町立病院の受診状況

町立和寒病院 事務長 巖田 政弘

町立病院の診療動向をお知らせします。患者数は、入院・外来とも年々減少傾向が続いており、外来患者数の減少は、長期投薬を希望される方や人口の減少などが要因の一つと考えられます。

町立病院は救急医療指定病院として24時間・365日、急病や事故などの診療時間外の受入体制を整えています。また、検査に必要な高度な医療機器を整備し、初期治療や初期救急、予防医療や健診業務など町民が安心して入院や診察を受けることのできる公的医療機関として医療サービスの向上に努めています。

●外来・入院患者数の推移

※()は1日当たり患者数

区分	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
入院	5,921人 (16.2人)	6,650人 (18.2人)	6,996人 (19.2人)	6,927人 (19.0人)	7,573人 (20.7人)
外来	14,402人 (59.3人)	15,086人 (61.6人)	15,608人 (63.7人)	16,882人 (68.9人)	17,702人 (72.5人)
時間外患者	654人 (1.8人)	653人 (1.8人)	556人 (1.5人)	655人 (1.8人)	628人 (1.7人)
救急搬送数	96人 (0.3人)	96人 (0.2人)	99人 (0.3人)	80人 (0.2人)	83人 (0.2人)

●医療機器の導入

超音波診断装置

腹部に超音波を発信し、返ってくるエコー（反射波）を受信して診断するのが腹部超音波検査（腹部エコー）です。肝臓、胆嚢、腎臓、膵臓などの臓器を検査し、腫瘍、ポリープ、炎症、結石などを診断します。鎖動脈の内側に血栓（プラーク）がないかどうか、狭窄がないかどうか（血管壁の厚さ）を調べます。動脈硬化の状態や血管の狭窄の程度などが簡単に把握できる検査です。

年間検査数

区分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
一般検査	69件	59件	56件
健康診断検査	59件	54件	41件



CT装置（コンピュータ断層診断装置）

CT検査は、X線を使って身体の断面を撮影する検査です。体内の様々な病巣を発見することができますが、特に心臓、大動脈、気管支・肺などの胸部、肝臓、腎臓などの腹部の病変の発見に優れています。

年間検査数

区分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
CT撮影	855件	791件	1,007件
一般レントゲン撮影	2,057件	2,073件	2,173件



内視鏡装置

胃カメラ検査は口もしくは鼻から食道 → 胃 → 十二指腸の中に超小型カメラを挿入しテレビ画面に映し出して観察するものです。比較的楽に検査ができる軽鼻内視鏡を備えています。また大腸カメラ検査も実施しており、毎週火曜日に旭川医科大学の専門医により検査を行なっています。

年間検査数

区分	平成27年度	平成26年度	平成25年度
胃カメラ (うち軽鼻カメラ)	321件 (241件)	296件 (221件)	236件 (164件)
大腸カメラ	49件	45件	35件



●外来診療時間（祝祭日を除く月～金曜日）

区分	午前	午後
診察時間	8時30分～12時15分	15時～17時
受付時間	8時15分～11時45分	13時15分～16時30分
休診		毎週水曜日 内科 毎週木曜日 外科

※毎週水曜日・木曜日の午後は、芳生苑回診のため休診となります。

※急病や事故などは、どの時間帯でも診療しています。